



### 〈事業所紹介〉 自分らしく働き 地域とつながる拠点 (べ～す)

## 障害者多機能型事業『べ～す6393』



今回は、庄原市宮内町美湯(みとう)地区にある障害者多機能型事業所「べ～す6393」を訪ねました。建物周辺には田畑や林が広がり、昔から湯治場として親しまれてきた地域らしく、ゆったりとした雰囲気があります。

施設管理者の延原さんにお話を伺いました。2025年10月1日から事業所名を新たに「べ～す6393」へ変更されました。「べ～す」という名前の由来には、基地や土台といった意味があり、地域の中で安心して過ごせる「拠点(ベース)になりたい」という願いが込められています。

事業内容は、一般就労に近い環境で働く場を提供する就労継続支援A型と、個々のペースに合わせて働く訓練ができる就労継続支援B型のほか、日中一時支援や生活介護サービスも提供されています。取材当日も、明るく開放的な作業スペースで、電子部品の組立や木工作品づくりに



管理者の延原さん

【お問合せ先】

電話 0824-72-1233

(庄原市宮内町 6393)

取り組まれていました。

事業所の特徴として、庄原市内に点在する法人内施設の清掃や営繕業務など、地域の生活を支える仕事に取り組みながら技能を身に付けることができます。また、仲間と協力して働くことで、責任感や信頼関係の大切さを学べる環境が整っています。

それでは、実際に総領町にある高齢者施設でA型就労として、清掃作業をされているお二人にインタビューしてみましょう。



### 定丸さん

#### ○利用きっかけは?

今年で3年目。施設内清掃を担当し、黙々と取り組める仕事にやりがいを感じています。



### 中谷さん

#### ○利用のきっかけは?

求職活動中に支援を受けて自分の特性を見つめ直し、経験を生かして挑戦しようと思いました。

#### ○仕事で心がけていることは?

分からないことは一人で抱え込まず、相談しながら取り組んでいます。

#### ○今後の目標は?

失敗を恐れず挑戦し、一般就労に向けて成長していきたいです。

○仕事で心がけていることは?  
居室に入る際の声かけや、安全面への配慮です。

○休日の過ごし方は?  
ドライブや映画でリフレッシュしています。

○長く勤めるコツは?  
仕事と休みの切り替えを大切にしています。



べ～す6393は、一般就労を目指す方から自分のペースで働きたい方まで対応し、「一人ひとりの「挑戦したい」という思いを応援しています。」



# タカさんの企業訪問



介護主任の升國さん(右)

今回は三次市の社会福祉法人水明会  
特別養護老人ホームみよしのを訪問しました。

【お問合せ先】  
電話 0824-65-0843  
(三次市南畑敷町 419-1)



さっそく、  
介護主任の升國さんに  
お話を聞いてみましょう

社会福祉法人水明会について  
教えてください。

水明会は、昭和26年に養老施設として  
スタートし、昭和34年に社会福祉法人とし  
て認可されました。今年で創業75年を迎え、  
長年にわたり地域の高齢者の暮らしを支え  
てきました。

現在は、養護老人ホーム・特別養護老人  
ホーム・地域密着型特別養護老人ホームの  
3つの入所施設に加え、在宅サービスやデ  
イサービス、ショートステイ、ホームヘルプ、  
支援センターなど、地域の皆さまの暮らし  
を支える幅広いサービスを提供しています。

障害者雇用の状況について  
教えてください。

法人では現在2名の障害のある方が働  
いており、そのうち1名は「みよしの」で  
日々力を発揮しています。

障害者雇用のきっかけは？

障害者の雇用は初めてではなく、30年以  
上前から清掃業務などで数名の方に働いて  
いただいた経験があります。今回あらため  
て介護職の求人でもハローワークに相談した  
ことがきっかけで採用に踏み切りました。  
採用当初は「プラスアルファで」と考えて  
いましたが、実際には正職員と同じように  
しっかりと活躍してくださっています。

配慮している点とありますか？

身体障害のある方が働きやすいよう、  
用具の変更や作業環境の改善を行っていま  
す。実際に働く中で不便を感じる点があれ  
ば都度改善し、無理なく力を発揮できるよ  
う工夫しています。

障害者を雇用して  
どのように感じておられますか？

障害の有無で区別するのではなく、一人  
ひとりの個性を大切にしたいと感じていま  
す。

「障害者」「健常  
者」といった枠に  
とられず、その  
人らしさを尊重し  
ながら共に働いて  
います。



ナカポツに要望があれば教えてください。

これからも変わらぬ支援をいただければ  
嬉しいです。今後ともよろしく願います。

みよしので働いている宮本さんに  
お話を聞いてみましょう

どのような仕事をされていますか？

特別養護老人ホームで  
介護職として、入浴や  
食事のサポート、洗濯や  
衣類整理など幅広くお手  
伝いしています。体操や  
レクリエーションでは、  
利用者の皆さんが安心し  
て参加できるよう声かけ  
を大切にしています。

お仕事を続ける中で大切にしていること  
や、その魅力について教えてください。

早出・日勤のあるシフト勤務のため、体調  
管理を徹底しています。遅刻や欠勤で周囲に  
迷惑をかけないことが、仕事を続けるうえで  
最も大切だと感じています。魅力は、利用者  
との会話や交流の中で新しい発見があり、「こ  
の仕事を選んでよかった」と感じる瞬間です。

休日の過ごし方を教えてください。

ドライブや海釣りや  
リフレッシュし、趣味の  
時間を楽しんでいます。

今後の目標を  
教えてください。

新しいことにも挑戦しながら、自分のペー  
スを大切に仕事を続けていきたいです。



ご協力ありがとうございました。



11月8日(土)在職者交流会・就活支援交流会  
**座談会で笑い、りんごでにっこり！**  
**在職者と就活者が座談会とりんご狩りでつながるひととき**



当センター登録者で在職中の方と就職活動中の方を対象に、恒例の秋の交流イベントを開催しました。参加者は17名、職員3名を加えた合計20名が集まり、にぎやかな1日となりました。

午前は座談会を実施。3つのグループに分かれ、自由に話し合いました。仕事のことはもちろん、趣味や最近の出来事などの話題も飛び交い、あちこちから笑い声が聞こえる和やかな雰囲気となりました。初めて参加した方もリラックスして話せたとの感想があり、参加者同士の距離がぐっと縮まった時間となりました。座談会の後には、みんなでおいしいお弁当を一緒に食べながら、さらに交流を深めるひとときを楽しみました。

午後は毎年恒例のりんご狩りを実施。今年はりんごの生育が良く、3種類のりんごをたくさん収穫でき、どれもとてもおいしく味わうことが

できました。自然の中での収穫作業を楽しみながら、参加者同士の会話も弾み、和気あいあいとした時間となりました。

今回のイベントを通じて、座談会やりんご狩りを通じた交流が深まり、仕事や日常生活の話題を分かち合える貴重な機会となりました。参加者からは「初めて会う人とも自然に話せた」「楽しい時間を過ごせた」といった声が多く寄せられ、地域の中で支え合いながら働くつながりの大切さを改めて実感できる1日となりました。



11月23日(日)  
**「ふらっとおいでよフランクフルト！」大盛況で完売**  
**2年ぶりの参加、みよし健康福祉まつりで笑顔とおいしさをお届け**



11月23日(日)、みよし健康福祉まつりに2年ぶりに出店し、フランクフルトの販売を行いました。「ふらっとおいでよフランクフルト」と題して出店した当日は、天気にも恵まれ、多くの来場者でにぎわいました。

競合店もある中で、完売できるか心配でしたが、昼過ぎには用意したフランクフルトがすべて売り切れ、大成功となりました。来場された方々からは「おいしかった！」との声も多く、笑顔あふれる時間となりました。

販売のほかに、当センターの紹介展示も行い、地域の皆さまに当センターの取り組みを知っていただく機会にもなりました。

このイベントは売店の他にも、健康や福祉に関する展示や講演会があり、地域の皆さまにさまざまな情報や体験を提供されていました。

今回のイベントを通じて、地域の方々と触れ合う貴重な機会を得ることができました。

これからもよろしく願いいたします。

## 11月21日(金) 障害者雇用企業等担当者交流会を開催しました



障害者職業センター  
藤井さん

企業・事業所の経営者、障害者雇用担当者、支援者を対象とした交流会を開催し、13名の方にご参加いただきました。

「働くを支える～障害者雇用に関する情報提供と就労継続のポイント～」をテーマに、障害者職業センターの藤井さんより、精神障害・発達障害を中心とした就労支援の考え方や支援の工夫について、約30分お話しいただきました。

その後は3つのグループに分かれ、障害のある方を雇用する中で感じていることや、職場に定着して働き続けるための取り組みについて意見交換を行いました。

グループワーク中は、障害者職業センターの藤井さんと原さんに各グループを回っていただき、具体的なアドバイスもいただき、最後に各グループで話し合っ

た内容を共有し、藤井さんから全体のまとめが行われ、交流会を締めくくりました。

アンケートでは、「同じ地域で一緒に考えられるグループワークが良かった」「さまざまな課題を共有でき、事業所での支援に活かしたい」といった声が寄せられました。

前回のアンケートを踏まえ、今回はグループワークの時間を長めに設定したことで、参加者同士の意見交換が活発に行われ、実りのある交流会となりました。



## 2月6日(金) RCC文化センター 県内ナカポツ連絡会に参加しました

県内8カ所のナカポツ職員が一堂に会し、支援技術の向上や情報共有を目的として開催されている「県内ナカポツ連絡会」に参加しました。

今回は広島東ナカポツが主催し、関係機関の方も含めて50名が集まりました。

認定専門公認心理士の竹内吉和さんの講演「体験を通して考える『仕事がうまくいかない人の理解と支援』」を聞き、学びました。

講演では、LD・ADHDなどの心理的疑似体験プログラムを通して、当事者が感じる困難さや、その方々にどのような支援が必要かを具体的に理解することができました。

今回学んだことを、今後の業務にしっかり活かしていきたいと思います。



## 障害者の法定雇用率が引き上げられます

2026年7月から企業に求められる

障害者の法定雇用率が2.7%に引き上げられます。



この見直しは、障害のある方が地域の中で、安心して働き続けられるようにするためのものです。

企業にとっては、障害者雇用や職場環境について考える大切な機会となります。また、働くことに不安を感じている障害のある方にとっても、「自分に合った働き方」を見つけるきっかけになることが期待されます。

当センターでは、企業の皆さまや障害のあるご本人・ご家族のお話をていねいにうかがいながら、就職から職場定着までの支援を行っています。制度改正をきっかけに、誰もが自分らしく働ける地域づくりを進めていきたいと考えています。

## センター活動実績 (2026年2月10日現在)

●就職者数 538件(2010年4月から累計)

●企業実習 397件(2010年4月から累計)

業種 食品製造業、自動車部品製造業、卸売・小売業、飲食業、サービス業、医療・福祉、農業、公務 など